

歯肉縁上の カリエスを数値で管理

プローブから出たレーザー光は、測定しにくい隣接面や小窩裂溝部のカリエスの歯面から約2mmの深度まで到達し、カリエスの持つ特性である蛍光反射を読み取り、数値化します。定期的を使用することでカリエスの進行状態を把握し管理することが可能です。



やさしい レーザー光での測定

これまで数値でカリエスの進行状態などを診査・診断するシステムは確立されていませんでした。「ダイアグノデント ペン」は歯牙にそっと沿わせ、歯面に655nmの低出力のレーザー光を照射するだけなので、痛みもなく、小さなお子様や妊婦の方にも安心してご使用いただけます。また測定された数値でカリエスの進行状態をわかりやすく説明できます。



臨床に応用できる 安定した数値

同一のカリエス部位でもプローブを当てる角度により数値が異なります。正しく測定するためには様々な角度から測定することが重要です。最もカリエスが進行した部位の値がピーク値としてディスプレイに保持されます。

※機器の特性として、正しく使用・計測された数値は実際のカリエスの規模より大きく表示されることはありません。



測定値の 目安

※日本で「ダイアグノデント ペン」をご使用いただいている臨床医の先生方からの意見を総合的にまとめた数値です。裂溝用・隣接面用プローブ共通の数値です。表はあくまで診断の目安としてご活用ください。

一般的の検査・診断の場合

測定値	診断～治療
0～15	健全歯質
15～40	経過観察とする値
40～	『MI』を心がけて最小限の侵襲的治療を行う値

積極的な予防に用いる場合

測定値	診断～治療
0～15	健全歯質
15～60	経過観察とする値
60～	『MI』を心がけて最小限の侵襲的治療を行う値

オプション

ペリオプローブで 歯周ポケット内を管理

歯周ポケット内にペリオ用プローブを挿入し、歯周ポケット内の歯面状態の変化を音と数値でお知らせします。



歯面にプローブを沿わせゆっくりと上下に動かし左右に移動させポケット内を検査します。